

コミュニティ活動の基本単位 = 町内会

=町内会のはたらき=

町内会入会のご案内

コミュニティ活動の基本単位は何といても「町内会」ですが、

町内会への入会はもちろん「強制ではありません！」

しかし、「将来の街づくり計画」や「防災体制の確立」の観点から

「やはり町内会への加入は必要！」

とのご意見や見解が増してきています。

効果 徳島市や「渭北街づくり協議会(別紙参照)」からの情報は、新聞・テレビなどいろいろなメディアを通じて行われますが、町内会では基本的に「回覧板」方式がとられています。

若い世帯の多い町内会では「メール配信」も使われていますが、回覧板方式はアナログなようで「人が手渡しで伝えていく！」ため、隣近所づきあいの第一歩！になります。



構成 現在、渭北地区では63の町内会とマンション内で作られている2管理組合が加入していただいています。加入者の多い町内会ではさらに「班」に分けられていて、

町内会長さん → 班長さん → 各世帯

と回覧板がまわっています。

町内会行事 各町内会・管理組合の運営はまちまちですが、基本的に、4月の総会で、その年度の活動計画を立てられています。総会の折には、日頃からの懸案や要望事項また改善事項が出されたりして、町内会の取り組みが決定されています。ゴミネットや防災グッズの共同購入をしたり、独自の避難訓練や親睦旅行をしている町内会もあります。

また、歩こう大会・町民文化祭・健康体操講座など渭北地区全体のイベントにも参加できます。(イベントの紹介は別紙を参照してください。)



吉野川河川敷での歩こう大会

成果 暮らしていて不便なこととか不自由なことがあっても個人では声を挙げにくいものです。道路の補修や溝の改善などは町内会を通して町内会連合会へお知らせ下さい。

これまで、渭北コミセンの新築や防犯灯のLED化など数々の要望が実現してきています。防犯灯の電気代も町内会を通して補助金が交付されます。

町内会では解決できない懸案は、町内会連合会(コミセン内)へ！

防災 近年に発生が予想されている「南海トラフ巨大地震」への対策をはじめ種々の災害対策のため「渭北防火防災協力会（自主防災会）」を組織しています。町内会に入ると自動的に協力会員となり、避難訓練の案内や防災資機材の共同購入、津波避難マップや防災グッズの配布などのメリットがあります。徳島市消防局の防災訓練補助金もこの防災会に配当されます。



災害時の自助・共助は防火防災協力会が核になります！

費用 町内会で集められる町内会費の用途について、わかりやすくするため「ある町内会の徴収会費」で説明します。

まず徴収総額のうち「町内会独自で使う」もの「街づくり協議会を通じて構成団体に納入する」ものに分かれます。

町内会費 = 各町内会で使う費用 + 街づくり協議会への納入金

「各町内会で使う」ものにつきましては、町内会によってまちまちですが、運営費（総会資料・事務費・掲示板補修費・ゴミネット購入など）、防犯灯電気代（ほとんどは補助金でまかなえます）、イベント費用があります。1年で2000円程度の町内会が多いようです。



「街づくり協議会を通じて構成団体に納入する」ものにつきましても、町内会単位・一口単位・任意納入ものがあるため、一概にはいきませんが、50世帯ほどの町内会で標準完納していただきますと1280円程度が多いです。※構成団体に納入するものの内訳・用途につきましては、別紙をご覧ください。

入会方法 入会方法も2通りあります。

《1 一個建住宅の方》 所属する町内会をご紹介しますので、コミセンまでお問い合わせ下さい。

世帯主の住所・氏名と連絡先電話番号をお知らせ下さい。後日に町内会会長さんから連絡があります。

《2 集合住宅（マンション等）の方》 入会希望者が少ない場合は、上記《1》の方法でお知らせします。大半の入居者さんが一括して入会される場合は、独立町内会となり、管理組合や理事会の代表者さんが町内会長として登録していただくことになります。

※既存町内会に所属し、ひとつの班として登録するなど、いろいろな方法がありますのでコミセンまでお問い合わせ下さい。（入会申し込み書は別紙）

問合せ先 〒770-0806 徳島市北前川町2丁目7-3 （徳島中学校・文学書道館の北通り）
渭北コミュニティセンター内 渭北町内会連合会事務局 Tel 622-0805